

平成27年度 事業報告

社会福祉法人シルヴァーウイング

墨田区特別養護老人ホーム なりひらホーム

墨田区なりひら高齢者在宅サービスセンター

なりひら居宅介護支援事業所

なりひら訪問ケアステーション

1 墨田区特別養護老人ホーム なりひらホーム

(1) 特養入所の実態

特養の定員 76 名に対し、平成 27 年 4 月 1 日の時点で 73 名のスタートだった。平成 27 年度は入所者 19 名、退所者が 18 名、月平均入所実人員は 75.0 名であった。昨年に比べ、感染性胃腸炎やインフルエンザに罹患されたかたが少なかったため、特養の稼働率は 89.8%であった。また 4 月から歯科クリニックによる定期的な訪問受診が始まり、口腔ケアの頻度と質の向上により入院者の数も減少した。

尚、平成 28 年 3 月 31 日現在の入所者は男性 11 名、女性 63 名の計 74 名である。また、年度末現在の平均年齢は男性 81.3 歳、女性 86.7 歳、男女合計の平均年齢は 85.9 歳であり、前年度に比べて 1 歳上がっている。

(2) 食事

昨年同様「入所者になったつもりでより良い食事の提供を行う」ことを主眼におき、更に自力摂取できる方や一部介助にて摂取している方に対して必要以上に介助することなく本人の意欲を引き出せるように心掛けた。又、各部署が連携し、入所者の体調に合わせた食事提供や食事形態、食事介助を工夫実践すると共に、嗜好調査を実施し、メニューに反映する試みも行った。季節の行事に合わせた行事食や毎月 10 日には各都道府県の郷土料理を提供し入所者の好評を得ている。

(3) 入浴

入浴の際は体温・血圧等バイタルチェックを行い、体調の確認を適宜行った。脱衣の際には身体状況を確認することに努めた。昨年度同様、身体的な清潔の保持はもとより、便秘の予防・褥瘡の予防にもなっている。

(4) 排泄

排泄の意志表示があったときは即対応すると共に、普段は個人に合った定時誘導を心掛けた。排泄状態は常に確認をし、チェックリストに記入をしている。排便コントロールについては医務が中心となり、管理医の指導のもと、健康状態には十分に注意を払った。また、排泄褥瘡委員会が中心となり、定時誘導やオムツ交換の回数を見直していき、入所者の皮膚トラブル等の改善に努めた。

(5) 就寝

個別の介護状態にあった寝具を提供した。又、定時にトイレ誘導し、清潔な状態で睡眠が得られるように心掛けた。

(6) 記録

生活援助記録は入所者の状態や様子を毎日記録し、全職員共通の認識を持つことができるように心掛けた。相談員ケース記録は利用者・家族の意見や要望、家族対応したこと、受診・入退院に関すること、他部署からの連絡事項を常に記録していくことに努めた。

(7) レクリエーション活動・行事

今年度もレクリエーション活動に力を入れ、歌や音楽、演芸、踊り、習字などの多岐にわたり、前年に比べてボランティアの受け入れを増やし、入所者のみならずご家族様からも好評を得た。各フロアにおいても壁紙製作やぬりえの活動や計算ドリルやカラオケ等の認知症予防も兼ねたレクリエーションを行った。また、中庭の花壇を利用してお花を植えたり、鑑賞したり、秋には芋ほりも実施し、入所者の生活に潤いを与えること、季節を感じられることに努めた。

行事としては7月に納涼祭、9月に敬老祭を行った。納涼祭では地域の方々にボランティアに来ていただき地域住民との交流を図った。

<年間行事>

月別	行 事
5月	菖蒲湯
7月	納涼祭、隅田川花火大会 鑑賞
9月	敬老祭
10月	芋ほり、ハロウィン
11月	ゆず湯
12月	クリスマス会
1月	獅子舞
2月	節分
3月	花見

(8) 事故対応

介護現場で事故が起きた場合は、医務・相談員にすぐに連絡し、速やかに事故報告書を作成する。報告を受けた相談員より家族への報告を行った。又、必要に応じ当日出勤の他職種で会議を開き、原因と対策を検討し再発防止に努めた。提出された事故報告についてはフロア会議とリスクマネジメント委員会において、1件ごとの原因と対策の話し合いが行われる。

(9) 各種委員会

排泄・褥瘡委員会、身体拘束廃止委員会、栄養委員会、感染症委員会、リハビリ委員会、

リスクマネジメント委員会、防災委員会、安全衛生委員会を毎月1回開催し、業務上の課題解決や改善策等を検討したことを活かし、入所者に喜んでいただけるサービスの提供を行った。

(10) 利用実績

別紙を添付する。

特養 27年度

なりひらホーム

特養月別利用者数(実人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要介護1	3	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2.2
要介護2	2	3	3	3	4	4	4	3	3	3	3	3	3.2
要介護3	12	13	12	12	12	12	11	11	10	9	9	9	11.0
要介護4	29	30	31	31	32	32	31	32	35	37	36	36	32.7
要介護5	28	27	25	28	25	24	28	25	26	25	27	24	26.0
計	74	75	73	76	75	74	76	74	76	76	77	74	75.0

特養月別利用者数(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要介護1	90	62	60	62	62	60	62	73	62	62	58	62	64.6
要介護2	60	93	90	93	124	120	124	90	93	93	87	93	96.7
要介護3	360	388	360	334	347	359	341	321	299	278	245	279	325.9
要介護4	806	880	878	869	883	958	918	820	992	1040	964	1052	921.7
要介護5	755	763	726	655	671	681	764	652	705	696	681	722	705.9
計	2071	2186	2114	2013	2087	2178	2209	1956	2151	2169	2035	2208	2114.8
平均要介護度	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
1日平均利用者数(人)	69.0	70.5	70.5	64.9	67.3	72.6	71.3	65.2	69.4	70.0	70.2	71.2	68.2
稼働率(%)	90.8%	92.8%	92.7%	85.4%	88.6%	95.5%	93.8%	85.8%	91.3%	92.1%	92.3%	93.7%	89.8%

入退所状況

	入所者			退所者		
	男	女	合計	男	女	合計
4月	0	2	2	0	0	0
5月	0	1	1	0	1	1
6月	0	0	0	0	2	2
7月	1	2	3	0	1	1
8月	1	1	2	1	0	1
9月	0	1	1	0	1	1
10月	1	0	1	1	1	2
11月	1	1	2	0	1	1
12月	0	2	2	0	2	2
1月	0	1	1	0	1	1
2月	0	2	2	1	4	5
3月	1	1	2	1	0	1
合計	5	14	19	4	14	18

年度末入居者年齢構成

性別	男	女	計
60～64	1	0	1
65～69	1	2	3
70～74	0	4	4
75～79	2	4	6
80～84	5	14	19
85～89	1	13	14
90～94	0	15	15
95～99	0	10	10
100歳以上	1	1	2
合計	11	63	74
平均年齢	81.3	86.7	85.9
最高年齢	100	102	

入院者数

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	0	0	1	5	2	18	2	15	2	27	0	0
要介護4	6	69	5	89	3	44	4	42	5	101	5	80
要介護5	6	79	8	69	9	172	10	210	8	109	3	49
合計	12	148	14	163	14	234	16	267	15	237	8	129
平均入院日数	12.3		11.6		16.7		16.7		15.8		16.1	

	10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	3	6	2	40	3	55	2	32	0	0	0	0	17	198
要介護4	6	53	9	142	6	104	8	98	5	68	7	101	69	991
要介護5	4	39	4	63	9	86	8	130	9	145	9	109	87	1260
合計	13	98	15	245	18	245	18	260	14	213	16	210	173	2449
平均入院日数	7.5		16.3		13.6		14.4		15.2		13.1		14.2	

2 短期入所生活介護 なりひらホーム

(1) 短期入所の対象者及び需要動向

ショートステイは 10 床あり、内 1 床は緊急入所の枠となっている。その他、特養の空床を利用している。短期入所の利用の主な目的は、家族の介護休養や経常的な介護者軽減である。なりひらホームでは 24 時間体制で看護師を配置し、医療的な負担が大きい方でも協議の上、家族の負担軽減を図る観点から、出来る限り受け入れるよう努力をしている。また、ショートステイ中も理学療法士や言語聴覚士によるリハビリによって、ADL の維持・向上に努め、むしろ改善された状態でご家庭に戻っていただくことを目標にしている。

(2) 受付方法

ショートステイの利用は 2 ヶ月前の電話予約を基本としているが、急なキャンセルや特養入所者の入院により空いたベッドをより多くの方に利用していただく為、以下のように努めている。

- ・ 2 ヶ月前に予約が取れなかった方に、空床が発生次第ご連絡をする
- ・ 常にキャンセル待ちを受け、空床発生時の迅速な案内する
- ・ FAX にて居宅介護事業所宛に空床情報を提供
- ・ メールにてケアマネージャーに空床情報を提供
- ・ インターネットで空床をリアルタイムで更新する
- ・ デイサービスご利用の方に空き情報を配布する

このように、予約に漏れた方のキャンセル待ちの登録、入院等空床が出た時にすぐ利用できるように体制を確立させ、短期入所者の需要に柔軟に対応している。

(3) 事業実績等

① ショート及び空床の利用状況

平成 27 年度短期入所年間平均稼働率は 141.6%であった。特養の空床を積極的に利用してきたが、地域のニーズに対応した。

② 送迎の対応

区内利用者はもとより、区外からご利用の際も送迎の希望者については自宅と施設間の送迎を行い、安心して施設利用を頂いている。

③ 介護計画に基づくサービス提供

事前に利用者・家族との面接を行い、利用者の希望・家族の要望を聴取のうえ、利用毎に介護計画表を作成。身体の状態に適した排泄介助・食事介助・入浴等の介護を行った。

④健康管理

入所時のバイタルチェックはもとより、日々の健康管理・服薬管理等を行い、健康指導・管理には十分に注意した。介護職員や看護師と連携し、体調不良やご利用時に何か変わった点があるときにはご家族及びケアマネージャーにこまめに報告をした。

(4) 家族との関係

ご利用前に家族に連絡を取りご本人様の状況確認をし、退所時には家族あてに利用時の様子を記載した手紙をお渡しすることで、サービスやコミュニケーションの向上に努めた。

利用者のサービス担当者会議には出来る限り出席し、各サービス担当者との情報共有やケアマネージャーとの信頼関係構築も心掛けた。また、インターネットでは空き情報だけではなく、ブログにてイベント等の様子を紹介し、安心してご利用いただけるよう利用のきっかけ作りを行っている。

(5) 利用実績

別紙を添付する。

シヨートステイ 27年度 要介護度別利用者数

なりひらホーム

(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援1	3		3										6	3
要支援2		2							6			5	13	4
介護度1	34	27	26	53	45	9	29	15	24	14	42	31	349	29
介護度2	110	80	91	68	131	70	31	89	113	121	78	59	1,041	87
介護度3	107	91	93	136	132	111	93	119	83	74	110	71	1,220	102
介護度4	155	106	83	110	149	82	120	121	121	114	90	77	1,328	111
介護度5	104	131	119	116	107	109	106	111	111	66	55	92	1,227	102
計	513	437	415	483	564	381	379	455	458	389	375	335	5,184	
要平均介護度	3.3	3.5	3.4	3.3	3.3	3.6	3.6	3.5	3.4	3.2	3.1	3.4		3.4
実人員	70	60	64	71	81	59	65	69	69	60	58	50	776	65
1日平均利用者数(人)	17.1	14.1	13.8	15.6	18.2	12.7	12.2	15.2	14.8	12.5	12.9	10.8		14.2
稼働率	171.0%	141.0%	138.3%	155.8%	181.9%	127.0%	122.3%	151.7%	147.7%	125.5%	129.3%	108.1%		141.6%

3 墨田区なりひら高齢者在宅サービスセンター

(1) 個別事業方針

高齢者が、住み慣れた地域で安心して在宅生活が過ごせるよう、総合的なサービスを提供し、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図る。あわせて、家族の精神的負担の軽減を図るために必要な援助を行う。

通年、365日(年中無休)通所サービスに向けて、家庭に引きこもりがちな65歳以上の要介護、要支援の認定を受けた方、あるいは40歳～65歳未満の方で特定疾病により要介護、要支援認定を受けた方が、安全で快適なサービスが受けられるよう、利用者一人ひとりに通所介護計画を作成し、利用者主体のサービスを提供する。

(2) 定員

平成24年3月1日に通所介護の定員を45人から55人に増員。以降、その定員数で運営している。なお、認知症対応型は定員12名である。

(3) 食事

個々の嚥下状態などに合わせてお粥、刻み、極刻みやペーストなどの食事をご希望をお伺いしながら適切に提供した。

当法人は墨田区から「墨田区ひとりぐらし高齢者等食事サービス(昼食夕食弁当配食サービス)」を受託しており、高齢者在宅サービスセンターが中心となって配食を実施した。本サービスは、一人暮らしや自分で買い物や調理が困難な方への昼・夕の弁当配達を通して安否確認を行う目的があり、高齢者支援総合センターと密に連携をとりながら、その目的を遂行した。また、デイサービスをご利用いただいている方へは配達サービスよりも安価な夕食弁当の持ち帰りサービスを併せて実施している。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
53	56	61	58	53	58	55	52	53	52	50	47	
1,527	1,598	1,593	1,711	1,597	1,551	1,479	1,346	1,473	1,370	1,263	1,221	17,729

(4) 入浴

入浴を希望する利用者には全員、毎通所日に行えるようにした。

家庭における入浴が困難な利用者に対し、施設の浴槽で安全で快適な入浴が出来るよう援助し、一人ひとりの心身状態に応じた入浴方法を選択している。

(5) 機能訓練

利用者が日常生活を営むのに必要な機能の保持ならびに心身の活性化を図る各種プログラムを提供している。理学療法士と言語聴覚士を厚く配置し、個々の状況にあわせた的確な計画のもと訓練を実施した。

- 日常生活動作を通じた訓練
- 言語聴覚療法
- 各種レクリエーション(筋力向上、認知症予防等の活動取り入れ)
- 集団体操
- 理学療法士等による個別機能訓練
- 物理療法 (ホットパックを用いて温熱療法)
- 音楽活動
- 園芸療法
- 太鼓療法
- 絵画療法
- ダンス療法

(6) 看護・健康管理

通所時、看護師及びケアワーカーが血圧測定等のバイタルチェックを行い、必要に応じて健康相談やアドバイスを行った。また、2 か月毎に体重測定を行い、連絡帳に記載し、利用者及び家族と情報の共有を図った。

また事故の発見時は速やかに応急処置し、受診・救急車搬送が必要と考えられる際は提携病院の医師へ連絡の上、搬送するまで間医師から受けた指示に従って経過観察を行った。またその際には、相談員・家族へも必ず連絡した。誤薬時は管理医の指示に従い、事故発見時の対応と同様に対処した。

(7) 事故対応

介護現場で事故が起きた場合は、医務・相談員にすぐに連絡するとともに、家族へ連絡を取った。また、医療機関等への診察が必要な場合など、事故が重大と判断した時には墨田区へ同時に通報した。重大な事故は速やかに医療機関へ搬送し受診の対応を取り、軽微な場合には看護師が簡易な措置を施した。

そのうえで、必要に応じて事故原因の確認や再発防止等のための事故対策の検討会を臨時に開催した。一連の処置が終了後速やかに事故報告書を作成した。提出された事故報告をもとに後日、リスクマネジメント委員会において各事故の原因と対策の検討を行った。

(8) 利用者の日課表

標準的なスケジュール

8:30	送迎バス出発
9:00	到着、バイタルチェック、談話
10:30	朝の会、午前の活動、随時入浴、随時リハビリ
11:40	今月の歌、口腔体操
12:00	昼食、休憩、談話
13:00	リハビリ体操
13:30	午後の活動、随時入浴、随時リハビリ
15:00	おやつ
16:30	帰りの会、順次帰りの準備、午後の個人活動
17:00	送迎バス出発

(9) 利用者実績

一般デイ（なでしこ）利用実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護度1	33	34	32	31	31	31	33	31	33	34	33	31	387
介護度2	37	38	39	41	39	37	37	35	35	34	30	29	431
介護度3	27	25	26	25	25	25	23	22	23	22	22	21	286
介護度4	20	19	16	17	17	19	19	19	21	19	21	19	227
介護度5	9	9	11	9	10	11	9	8	7	6	6	6	101
合計	127	125	124	123	122	123	121	115	119	121	112	113	1532

予防デイ(つつじ) 利用実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	7	6	5	5	5	5	6	6	6	6	6	7	70
要支援2	18	17	15	14	15	12	10	11	12	12	11	11	158
合計	25	23	20	19	20	17	16	17	18	18	17	18	128

認知デイ(わかくさ) 利用実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護度1													
介護度2	3	4	4	3	3	4	4	5	6	6	7	7	56
介護度3	6	6	5	6	6	7	7	5	6	6	6	6	72
介護度4		1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21
介護度5	6	6	4	4	5	5	5	5	7	7	6	6	66
合計	15	17	15	15	16	18	18	17	21	21	21	21	215

利用者実績 (延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般デイ	1122	1132	1124	1105	1109	1100	1116	963	1075	974	969	966	12755
予防デイ	129	131	100	98	110	85	72	73	90	88	70	72	1118
認知デイ	134	142	130	137	141	143	145	147	171	154	183	179	1806
合計	1385	1405	1354	1340	1360	1328	1333	1183	1336	1216	1222	1217	15679

4 居宅介護支援事業所

今年度は職員の退職や事業の廃止に伴い、当事業所の目標である契約件数 130 件を下回る結果となった。また長期の入院や老人保健施設等の入所等もあり、給付管理数は 100 件前後を推移した。

業務目標は運営基準減算に影響するケアマネジメントプロセスを怠ることなく行うことである。実地指導をまだ受けていないため事業所としての判断だが、全職員が怠ることなくできていると思われる。

能力開発目標は月に 1 回以上は研修や学習会に参加し、資質の向上を図ることだが、全職員がほぼ目標を達成している。

5 なりひら訪問ケアステーション

昨年同様、月 50 名程度の契約者数を維持し、サービスの向上に努めていたが、なりひらホームの指定管理終了に伴い、2 月末で事業を廃止することとしたため、後半は利用者の意向を鑑みながらの引継ぎ業務が中心となった。